

## 「痛覚」は左扁桃体の負や膝の負など頭で考える事、「筋肉」「骨格」の歪みはその前ぶれです。

### ●「左扁桃体」と「膝」にたまる負の感情

「自分本位・エゴ的な良くない思考」は、まず「首の筋肉」にたまり、その思考から出る負の感情が「左扁桃体」にたまります。

「自己肯定感が低い良くない思考」は、まず「股関節」にたまり、その思考から出る負の感情は「膝」にたまります。

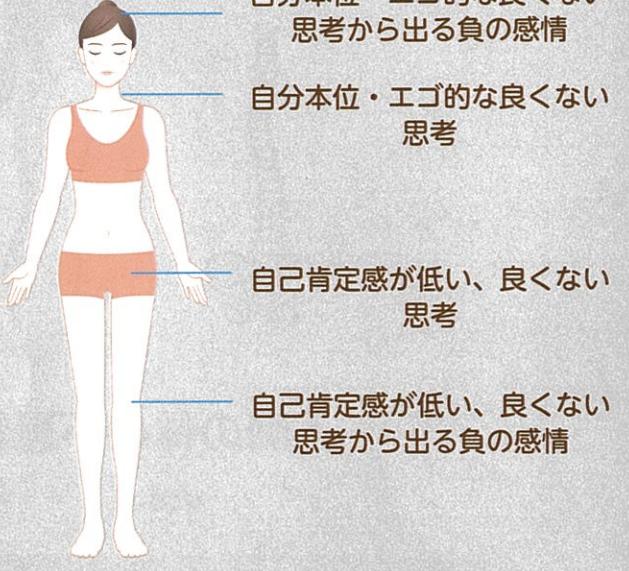
「左扁桃体」にたまつた負の感情は未病から症状が出るまでの間で人体に悪い影響を及ぼします。

「膝」にたまつた負の感情は膝の痛みの症状として現れます。

「首の筋肉」と「股関節」にたまつた良くない思考は首と股関節の可動性の悪さとして症状に現れます。

#### 未病～症状

##### 左扁桃体



##### 首の筋肉

##### 可動性の悪さ

##### 股関節

##### 膝

##### 痛み

※膝の負は「あふれる」と痛みが出ます。

### ●「左扁桃体」にたまつた負の感情を消す方法例



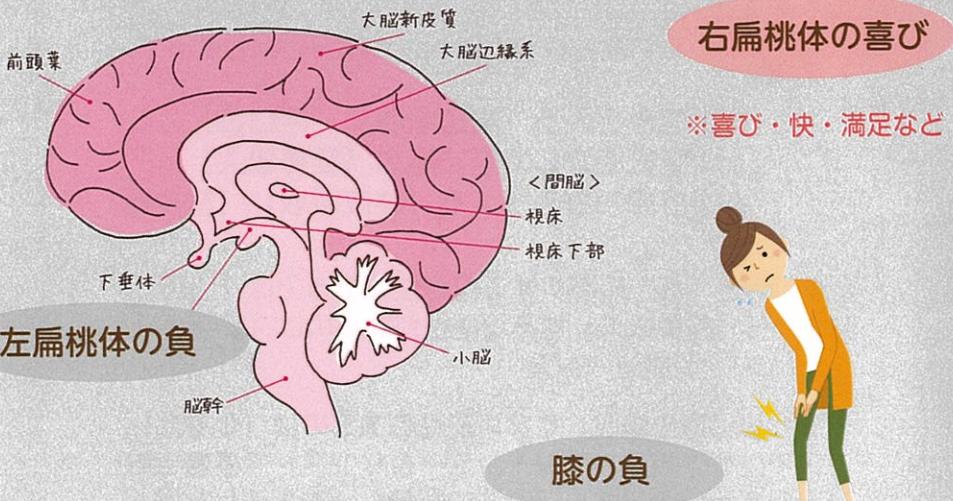
自分の感情に気づく



サウナや岩盤浴で  
気持ちの良い汗をかく



勝ち負けにこだわらない  
運動で楽しく汗をかく



### ●負の感情の種類はいくつかの「剣」に分けられます

#### <恐怖の剣>

恐れ、自己嫌悪、あきらめ、どうせできない、また失敗する  
終わったことを悔やむ、あせり

#### <意識の剣>

嫌だなと思う事がある、不安、心配、迷い、生きているのが辛い

#### <光の剣>

信用できない、怒り、恨み、イラ立ち、いじめ

#### <不幸の剣>

羨ましい、惨めさ、強いあこがれ、恥ずかしいと思う気持ち、さみしい気持ち

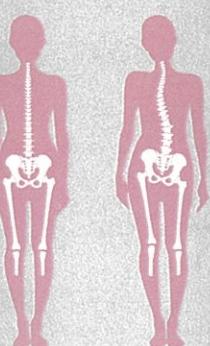
#### <嫉妬の剣>

ねたみ、ひがみ、憎しみ、悔しさ、敗北感、はがゆい気持ち

### ●左扁桃体の負がたまる段階的なお知らせ

#### ①左扁桃体の負がたまる

- ②槍や剣が刺さる
- ③冠状面からみて体が左右どちらかに傾いてくる
- ④遺伝子にキズがつく
- ⑤細胞にキズがつく※①
- ⑥神経に異常が出る※②



※①「左扁桃体の負がたまる」と、「妄想が多い」  
または「反芻している記憶がある」のが合わさると、  
細胞にキズがつきります。  
さらに、ホルモンの分泌やバランスが悪くなり免疫力  
が低下します。

- ・「白内障」と診断されることがあります。
- ・尿が出にくくなる症状が出ることがあります。

#### ※②

- ・「緑内障」と診断されることがあります。



お腹が痛くなるほど笑った時に  
出る涙は体内に入った食品添加物や  
化学物質などの有害物質  
まで一緒に出します

## 五感について

五感を使って楽しむと  
小腸が元気になります



五感とは、

「視覚」→ 目

「聴覚」→ 耳

「嗅覚」→ 鼻

「味覚」→ 舌

「体性感覚」→ 皮膚、筋、関節の深部組織

「平衡感覚」→ 体の位置の確認、運動の確認

「視覚」が乱れる原因 → 感謝しているから

「聴覚」が乱れる原因 → 思っていることを言えないから

「嗅覚」が乱れる原因 → これでよかったのかな…と自分のした事を振り返る気持ちがあるから

「味覚」が乱れる原因 → 左扁桃体の負がたまるから

「体性感覚」が乱れる原因 (マヒ) → 執着していることがあるから

「平衡感覚」が乱れる原因 (酔う) → 物事を見る視野が狭くなっているから

## 神経反射について

「手」「足」「顔」「耳」には「反射区」があります。

神経反射の引き金となるポイントは、リモコンのように点で反応するところ(ツボ)もあれば、

「手」「足」「顔」「耳」の反射区のように面で反射するところもあります。

例えば、面で反射する「手」や「足」の反射区は「温度を感じる」「動かす」「触る」といった刺激でも関連部位の機能が活性化します。



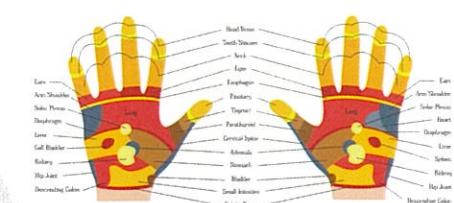
### <「手」「足」「顔」「耳」に反射区がある理由>

・「手・足」→ 手足を使って楽しんで!

・「顔」→ 表情豊かに喜怒哀楽を楽しんで!

・「耳」→ 人は聴いて話してコミュニケーションができます。2本の足で歩くことができます。魂体では成しないこの特性のどちらにも関係しているのは「耳」です。

Hand Reflexology Chart



人として生きているこの時を楽しんでほしいから。という意味合いもあります。